



大規模都営団地 10 年の住民ニーズ変化と暮らしを支える体制づくり

キーワード

大規模団地, 住民意識, 社会交流, 通いの場

研究内容

戸山ハイツは、新宿区戸山2丁目に位置し、約3,000世帯が居住する大規模団地です。2015年女性未来研究所「戸山ハイツの未来の物語をつむごうプロジェクト」がきっかけとなり、戸山ハイツの住民が運営する「戸山未来・あうねっと」の活動が始まりました。

あうねっとの活動が始まって10年が経ち、戸山ハイツの状況も大きく変化しています。本研究は、あうねっとを拠点として戸山ハイツの全世帯を対象とした実態調査を行い、2015年に実施した住民調査の結果と比較しつつ、住民意識・健康状況・社会交流等の変化を包括的に明らかにすることを目的としています。

居住者が抱えるニーズの変化を実証的に明らかにし、安心して住み続けられるコミュニティづくりに必要な要件を戸山ハイツの皆さんと一緒に考えることを目指しています。

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・「超高齢社会における『つながり』再生と多様な地域資源による『これまでどおりの暮らし継続』への挑戦」〈戸山ハイツプロジェクト〉2021年度報告書 2021年9月
- ・総合事業通所型サービスB「戸山未来・あうねっと」
- ・毎週土曜日の午後2時間、戸山ハイツに住む高齢者と住民ボランティア、本学学生や専門職の方も加わり、様々なプログラムを実施しています。



ふまねっと体操：リズムにのって、ゆっくり無理なく体を動かすことで、身体機能の維持とリフレッシュを図ります。



学生企画・プロフ帳づくり：人生の場面や想い出、好きなもの、嫌いなもので話が弾むうちに参加者同士の関係が深まります。

社会連携・産学連携の可能性

地域の生活課題や地域特性に関する調査、通いの場など地域活動の効果測定など、地域福祉推進に向けた連携、共同研究が可能です。